

子育て応援サポートセンターからのお知らせ

～妊娠期からの切れ目のない支援を～

4月から保健センターに子育て応援サポートセンターを開設しました。健康政策課の母子保健コンシェルジュと子育て支援課の子育てコンシェルジュが連携し、安心して子育てできる湖南省をめぐし、妊娠期から子育て期のアドバイスや支援を行います。

子育て応援サポートセンター
(健康政策課) [保健センター]
☎71・4150 ☎72・1481



産後ケア事業

産後、不安な人はぜひご利用ください。

■**申込方法** 利用前に☎へ(事前予約必要)。

※生活保護世帯は、事前申請で負担額免除となります。

●**ショートステイ(宿泊)、デイサービス(日帰り)**

■**対象** 次の①～③全てに当てはまるお母さんと生後12か月未満の赤ちゃんで、市が利用決定した人

①湖南省に住民票がある人

②産後12か月未満で、子育てについて強い不安を感じている人

※ショートステイ利用は4か月未満

③家族などから産後の支援が得られない人

■**内容**

・授乳や沐浴などの育児相談

・乳房に関する相談や指導

・赤ちゃんの発育・発達などの相談

・お母さんの体やこころの健康相談

■**負担額**

・ショートステイ9,000円(1泊2日(24時間以内)、3食含む)

・デイサービス4,500円(1日(8時間程度)、昼食含む)

※利用施設は、野村産婦人科、まごころ助産院です。

●**乳房ケア訪問**

■**対象** 湖南省に住民票があり、産後12か月未満で乳房の状態や授乳方法に不安がある人(利用は1回まで)

■**負担額** 1,500円

「地理情報システム」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。GISといいますが、電子地図のデータにいろいろな情報を関連付けて地図上に表示させ、作図や検索、分析などを容易にできるようにするシステムです。

湖南省でも、紙ベースで利用されてきた地図情報をGIS化して活用してきました。

例えば、災害警戒本部では市内各所から集まる被害状況をGISのマップ上に表示し、リアルタイムに情報を共有することで、適切な対策を執ってきましましたし、他にも税やごみステーションや道路や上下水道など多くのデータがGIS化されています。

GISではさまざまな情報が電子化されているので、必要な情報を簡単に得ることができ、活用いただくことが、先月か



らオープンデータとしてホームページ上で順次公開を始めました。

公共施設や地番から位置を表示することはもちろん、施設の情報を検索することもできます。一般地図としては、航空写真やストリートビューとしても利用できます。

事業関係でいえば、都市計画や景観計画、屋外広告物などの規制に関するゾーニングについてもGISマップ上に表示されていますので、概略を知ることができます。

災害に備えるという意味からは、土石流警戒区域や浸水想定区域、さらには指定緊急避難所の位置などが示されていますので、普段から防災や減災に取り組んでいただければと思います。

そのほかにも、子育て支援施設や介護施設、選挙の投票所、コミュニティバス停留所の位置などもプロットされています。

作図や距離計測、面積計測なども概略ながら利用することができますので、区・自治会や地域まちづくり協議会などで身近なまちづくりに活用していただければありがたいと思います。